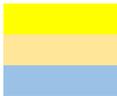


## ソーラーライト自主評定試験成績書(器具-商用電源併用形) 記入手順書



プルダウンリストから選択  
 プルダウンリストから選択又は自由入力可  
 手動入力

※ 印刷時は、網掛けを外す(全てのセルを塗りつぶし「色なし」に設定)。

- 【1】 試験を実施した期間を記入する。“(西暦)年 月 日 ~ 年 月 日”
- 【2】 試験成績書が複数(電圧違いなど)の場合は, ①, ②…を記入, 1枚の場合は, ”-”を選択する。
- 【3】 非適用項目の試験結果は, ”-”を選択又は記入する。空欄は不可。
- 【4】 仕様書記載の定格値を記入する(電流は”A”, ”mA”を選択)。電力区分による許容差を選択する。
- 【5】 許容差(JIL5510による)に基づき基準値を記入する。定格値の下1桁まで記入する。定格値の下2桁目は, 下限値は繰り上げ, 上限値は切り捨てとする(四捨五入しない)。
- 【6】 定格値の下1桁まで記入する(基準値を同じ桁数)。電流は, 基準値と同じ単位を選択する。
- 【7】 測定器の測定レンジの上限を超えた場合は, 上限値を記入する。”〇〇MΩ以上”と記入しない。
- 【8】 小数第一位まで記入する。
- 【9】 小数第二位まで記入する。”〇秒以内”と記入しない。
- 【10】 評定区分「低温仕様-20℃以上」又は「その他の温度」の場合, 使用温度範囲の下限値を記入し, その結果を記入する。
- 【11】 ”接触電流”又は”保護導体電流”のいずれかを適用し, 他方は非適用とする。感電に対する保護のクラス及び限度値を選択する。
- 【12】 商用電源からの充電時, 太陽電池からの充電時, 商用電源での点灯時又は蓄電池での点灯時のうち, 温度的に厳しい条件で測定し, その結果を記入する。
- 【13】 定格電圧の0.94倍, 1.0倍及び1.06倍(定格電圧に範囲がある場合は, 最小値の0.94倍, 1.0倍及び最大値の1.06倍)の中で, 測定値が最も高い値を記入する。  
 例)  
 成績書No.① 電圧:100V  
 成績書No.② 電圧:242V の場合,  
 いずれの成績書にも, 電圧94V, 100V, 242V及び257Vの中で, 測定値が最も高い値を記入する。  
 測定部品が複数ある場合は, 温度限度値に対して最も差が少ない部品を選択する。
- 【14】 定格電圧での測定値を記入する。  
 電圧が異なる成績書が複数ある場合は, それぞれの電圧での測定値を記入する。  
 測定部品が複数ある場合は, 温度限度値に対して最も差が少ない部品を選択する。
- 【15】 温度測定時の入力電圧を記入する。
- 【16】 測定部品が複数ある場合は, 【14】で選択した部品の部品番号(例”T1”)を記入する。  
 温度測定時の入力電圧は記入しない。
- 【17】 温度測定時の入力電圧を記入する。  
 測定部品が複数ある場合は, 【13】で選択した部品の部品番号(例”C1”)を記入する。
- 【18】 異常状態を選択又は記入する。充電回路の出力端子間(蓄電池接続端子)の短絡状態は, 「充電出力の短絡」を選択する。
- 【19】 【11】で選択した基準を選択する。
- 【20】 防水形の場合, IPコードを選択又は記入する。
- 【21】 電解コンデンサ及びフィルムコンデンサの温度限度値が確認できる仕様書, カタログを添付する。
- 【22】 特定箇所を選択する場合は, 部品温度との相関が確認できる書類を添付する。

ソーラーライト自主評定試験成績書 (器具-商用電源併用形)

製造区分:	ソーラーライト
型式:	ソーラーライト
型番:	ABC12345

試験実施日:	【1】2020年10月1日~2020年11月1日
製造事業者:	〇〇株式会社
試験責任者:	〇〇 〇〇

試験成績書No. 【2】 ①

光源: LEDモジュール

電圧: 100 V

蓄電池: Ni-MH

試験項目	基準値・条件その他	適用	【3】試験結果	判定	備考	
(1) 構造・材料	構造	JIL 5510に適合のこと	○	適合	良	
	材料及び部品	JIL 5510に適合のこと	○	適合	良	
	感電に対する保護	JIL 5510に適合のこと	○	適合	良	
	表示	JIL 5510に適合のこと	○	適合	良	
(2) 電気的特性	入力 常用時	電流: 【4】 定格 ( 0.16 ) A ±25 %	○	【6】 0.165 A	良	
		0.120 ~ 0.200 A 【5】				
		電力: 【4】 定格 ( 15.5 ) W ±25 %				
		11.63 ~ 19.37 W 【5】	【6】 15.65 W			
	絶縁抵抗	熱間: 2 MΩ以上	○	500 MΩ	良	
		冷間: 30 MΩ以上	○	【7】 1,000 MΩ	良	
	耐電圧	2U+1000 V 1分間	○	異常なし	良	
	切替動作(日没)	5分以内	○	【8】 1.5 分	良	
	切替動作(商用電源遮断)	3秒以内	○	【9】 1.20 秒	良	
	充電電流	-5℃: 0.02 It以下	○	120.0 mA	良	
		【10】℃: 0.02 It以下	—	— mA	—	
	放電基準電圧 *	-5℃: 5.0 V以上	○	6.10 V	良	
		【10】℃: V以上	—	— V	—	
	充電量と放電量 *	1日の充電量は1日の放電量を下回らないこと	○	適合	良	
接触電流	0.7 mA以下	—	— mA	—		
保護導体電流 【11】	固定配線に接続するクラス I 3.5 mA以下	○	0.55 mA	良		
(3) 熱的特性	温度(通常動作) ※2 *	人が触れたりする部分(金属部): 70℃	○	50.0℃	良	257V
		人が触れたりする部分(非金属部): 85℃	○	【13】 50.0℃	良	242V 【15】
		電源電線の分岐点: 60℃	○	50.0℃	良	94V
	(0) 特定箇所:	—℃	—	—℃	—	
	(1) 巻線 E種(表面)	95℃	○	【14】 50.0℃	良	T1 【16】
	(2) 整流体:	135℃	○	50.0℃	良	94V
	(3) 電解コンデンサ※1:	92℃	○	【13】 50.0℃	良	257V,C5
	(4) フィルムコンデンサ※1:	110℃	○	50.0℃	良	94V,C1 【17】
	内蔵電池 表面温度差:	5 K以下	○	1.0 K	良	242V
	温度(異常動作) *	炎、溶融がないこと	○	異常なし	良	LEDの短絡 【18】
温度(非常点灯時)	異常なきこと	○	異常なし	良		
(4) 機械的強度	耐衝撃	JIL 5510に適合のこと	○	異常なし	良	
(5) 水・湿気	耐湿性 *	絶縁抵抗: 試験前 2 MΩ以上	○	1,000 MΩ	良	
		試験後 2 MΩ以上	○	1,000 MΩ	良	
	(防水形: 96時間)	耐電圧: 2U+1000 V 1分間	○	異常なし	良	
		保護導体電流 【19】	○	0.75 mA	良	
(6) 防水性能	散水試験	充電部付近の浸水	○	異常なし	良	
		滞水	○	異常なし	良	
		絶縁抵抗: 30 MΩ以上	○	1,000 MΩ	良	
	保護構造	耐電圧: 2U+1000 V 1分間	○	異常なし	良	
		防水保護の種類 IP X3 【20】	○	適合	良	
		水抜き穴など(部品防水)	—	—	—	
(7) 光学特性	照度 *	地表面で0.1 lx以上, 直下近傍1 lx以上	○	適合	良	
(8) 自動点検機能	点検動作	起動確認(48時間以上連続充電時)	○	適合	良	
		点検動作(正常電池)	○	適合	良	

\*印の項目(放電基準電圧, 充電量と放電量, 温度(通常動作), 温度(異常動作), 耐湿性, 照度)については、試験データを添付。

光学特性は、照度分布図、配光データ及び設置間隔表を添付。ソーラーライトは、充放電量計算の結果を添付。

電解コンデンサの温度限度 設計寿命(L): 40,000 時間 仕様書記載の最高使用温度(T): 110℃

仕様書記載の最高使用温度での寿命(L<sub>0</sub>): 12,000 時間

T<sub>0</sub> = 92.6℃ (ただし、仕様書記載の最高使用温度を超えない。)

注※1: 仕様書等を添付 【21】

※2: (1)~(4)の部品個々の温度測定が困難な場合は、部品温度との相関が確認されている電源外郭の特定箇所(0)を測定してもよい 【22】